

インフルエンザ対策を考える

感染管理認定看護師 染谷 由香里

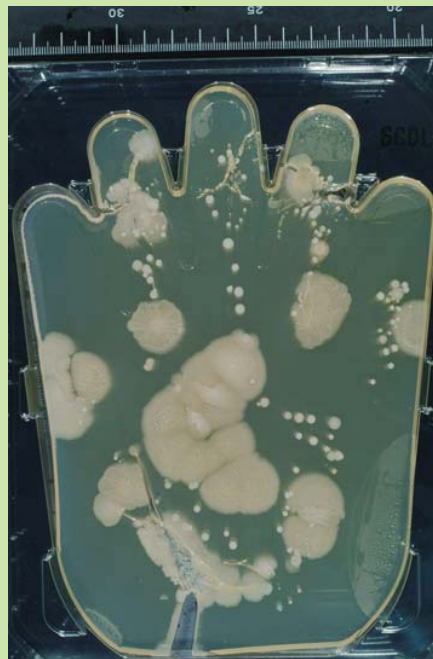


新型インフルエンザに始まり、デング熱、エボラ出血熱と、これまでには考えられなかった感染症が日本中を駆け抜けています。交通網が発達し、地球温暖化が進んだ今、これからも種々多様な感染症が増えてくることは否めません。

そうはいつても、各家庭や地域で問題となるのは、毎年冬場に流行するインフルエンザや嘔吐下痢症などが一般的です。「帰ってきたら手を洗ってうがいして！」子供の頃必ずお母さんから言われたフレーズだと思います。そう、インフルエンザの感染拡大防止には、手洗いが重要な鍵となります。インフルエンザに罹っている人が触ったところ（ドアノブやつり革といった多くの方が触れる所）に触れることで、感染が広がります。手を洗ってウイルスを洗い流す、インフルエンザ予防にはとても大切なことです。

病院には、病気療養のため体力が落ちている方、治療のため免疫力が低下している方が入院をしています。高齢の方や基礎疾患のある方がインフルエンザに罹ると、命にかかわることもあります。そのため、地域の流行状況に応じて、面会の制限、場合によっては面会禁止という措置をとらせていただくこともあります。患者様、ご家族様とも安心してご面会して頂けるよう、常に地域の流行状況を把握し、安心して療養できる環境を提供するのが感染管理認定看護師である私の役割です。

毎年流行するインフルエンザ、それに伴って実施する面会制限では地域の皆様にご協力いただきありがとうございます。これからも患者様が安心して入院生活を送れる環境作りに努めて参ります。



手洗い前の手を培養しました。白く見えるのが細菌の塊です。



流水と石鹸で手を洗った後の培養結果です。



第17号 発行日：平成27年2月1日

特集

脳梗塞に対するt-PAについて

脳梗塞に対するt-PA 静注療法をご存じですか？

副院長兼地域医療支援連携センター長 甲賀 英明



脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）のうち脳梗塞は7-8割を占め、高齢化の進行により患者さんは増加しています。2005年から脳梗塞に対する画期的な治療としてt-PA静注療法が開始されました。この治療は発症4.5時間以内の患者さんへのみ行う治療です。

◎t-PA 静注療法とは何ですか？

t-PAは血栓（血の塊）を溶かす薬です。脳への血液の流れを早期に再開させ、脳を障害から救うのがt-PA静注療法です。発症3時間以内の脳梗塞103人にt-PAを投与したところ、3ヶ月後の障害なしが39%、投与なしの26%を上回りました。

◎t-PA 治療が普及しない！

救急隊ではt-PA適応候補と考えられる患者さんは上記3病院に直接搬送するシステムが作られています。最大の問題は脳梗塞で受診される患者さんのうち4.5時間以内の受診されるかたは全体の1/3に過ぎないことです。t-PA静注療法は画期的な治療法であるにもかかわらず、一般の皆さんにまだよく知られていません。

◎西毛地区での常時 t-PA 可能な施設は

公立藤岡総合病院、高崎総合医療センター、黒沢病院、はるな脳外科の4病院において常時対応しています。平成25年度群馬県全県でのt-PA施行件数は231例でt-PA施行病院での脳梗塞患者3369名の6.9%に過ぎませんでした。公立藤岡総合病院では平成25年度の脳梗塞入院患者の204名のうち、27名（13.2%）に行われ、日常生活自立患者は37%でした。

◎脳卒中（の可能性がある）の初期症状いろいろ

手足の脱力、足を引きずる、ものにつまずく、まっすぐに歩けない、急にめまいがする、ものが二重に見える言葉がでにくい。

このような症状が出現した場合には様子を見ていないで救急車を依頼するか、直接t-PA施行可能な4施設をできるだけ早期に受診することが極めて大切です。画期的な治療を受ける機会が失われてしまいます。

病院の理念 基本方針 「患者本位の医療」

患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。
地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
地域医療支援病院として地域の医療人の教育研修の充実強化に努めます。

研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。

基本方針

1. 基本的知識・技能・態度を習得する。
2. 患者中心の医療を理解し、実践する。
3. チーム医療の重要性を理解し、実践する。
4. 医療安全を深く理解し、実践する。
5. 医療人としての倫理観を養成する。
6. 地域医療の重要性を理解し、実践する。

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表

平成26年11月1日

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科 (新)新患・(再)再来	(新)河合 (新)高野	(再)壁谷	(新)神保 (新)木下	(再)河合 (再)飯島	(新)河合 (新)神保	(再)河合 (再)飯島	(新)石川 (新)馬場	(再)神保 (再)壁谷	(新)河合 (新)壁谷	(再)杠
循環器	植田	高松	井上 間淵	井上	☆山岸 小野	☆山岸	飯島(徹) 植田 高松 鈴木	飯島(貴) 鈴木	小野 ☆山岸	間淵
呼吸器	中川	中川	塚越 ☆池田	塚越		中川 須賀(達) ※禁煙外来	高野 嚙下外来 (第1・3週) 在宅酸素外来 (第2週)		☆池田	塚越
血液	外山	神保 石川	斎藤(明)	神保	斎藤(貴) 杠			斎藤(明)		外山
腎臓・リウマチ	馬場	☆太田			☆太田			木下	塚田	塚田
糖尿病	☆久永			☆久永				☆久永 ☆朱	☆久永 ☆朱	☆朱
神経内科	柳澤	(再)柳澤	柳澤		柳澤			(再)柳澤	古田	古田 (第2・4) 柳澤 (第1・3・5)
甲状腺						※常川				
消化器(消)・肝臓(肝)	(消)☆山口	(消)秋谷		(消)壁谷	(消)☆山口		(消)秋谷			
緩和ケア外来		※柳澤 (14:30~16:30)								
心療内科	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝) ※高橋	※五十嵐(孝) ※高橋	※五十嵐(孝) ※鈴木	※五十嵐(孝) ※鈴木	※五十嵐(孝) ※五十嵐(恒)	※五十嵐(孝) ※川嶋 (予)※井上	※五十嵐(孝)	
小児科 (乳)乳児健診 (予)予防接種	川嶋 ☆小板橋	(心臓)※岡田 (第2・4) ※川嶋 (乳)※深澤	川嶋 井上	※川嶋 ※相馬 (内分泌) ※小和瀬	川嶋 ☆小山	※川嶋	川嶋 深澤	※五十嵐(恒) ※川嶋 (予)※井上	川嶋 大和	※川嶋 ※相馬
外科 (新)新患 ()がん専門外来	田嶋 田中	(呼吸器・乳腺) 田嶋 (消化器・食道) 田中	(新)☆松本 安藤	(消化器・乳) ☆松本	(新)☆松本 設楽 萩原	設楽	(胃大腸) 安藤 (一般) 萩原	(新)☆塚越 森永	(胃大腸・肝胆膵) 森永 (消化器・乳) ☆塚越	
ストーマ外来										要予約
整形外科	小林 遠藤 小野		中島 勝見 萩原		小林 石綿 萩原 (リハビリ)清水		小林 遠藤 小野		中島 石綿 萩原 (リハビリ)清水	
脳神経外科	若林		非常勤		田村 ※甲賀				非常勤 甲賀	
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡	手術(13~15時)	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
泌尿器科	内田	内田	坂本	坂本	曲		内田	嶋岡	武井	武井
産婦人科 (婦)婦人科・ (産)産科	(婦)吉田 (産)☆延命	吉田	(婦)☆延命 (産)吉田	吉田 ☆延命	(婦)吉田 (産)矢崎	山下 吉田	(婦)☆延命 (産)遠藤	(婦)※遠藤 (産)☆延命	(婦)矢崎 (産)小松 ※吉田	※吉田
助産師外来		※13~14時		※14~16時		※14~16時				※14~16時 (第3・4)
眼科	須藤	[検査]	須藤	[検査]	須藤	[検査]	※群大		須藤	[検査]
耳鼻咽喉科		※群大 (14時30分~)	※非常勤		※古屋		※群大	※めまい外来 (14時~)		
ペインクリニック	金井/荒井/萩原						牛込			

診療時間：8時45分~17時00分
受付時間：(午前)8時~11時 (午後)13時~16時

※は完全予約制
☆は女性医師

■発行：〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須813-1 公立藤岡総合病院 附属外来センター
■TEL 0274-22-3311(代) FAX 0274-24-8701
■診療予定表・休診予定表 <http://www.fujioka-hosp.or.jp/post-36.html>



公立藤岡総合病院の入院棟と外来センターを統合します。

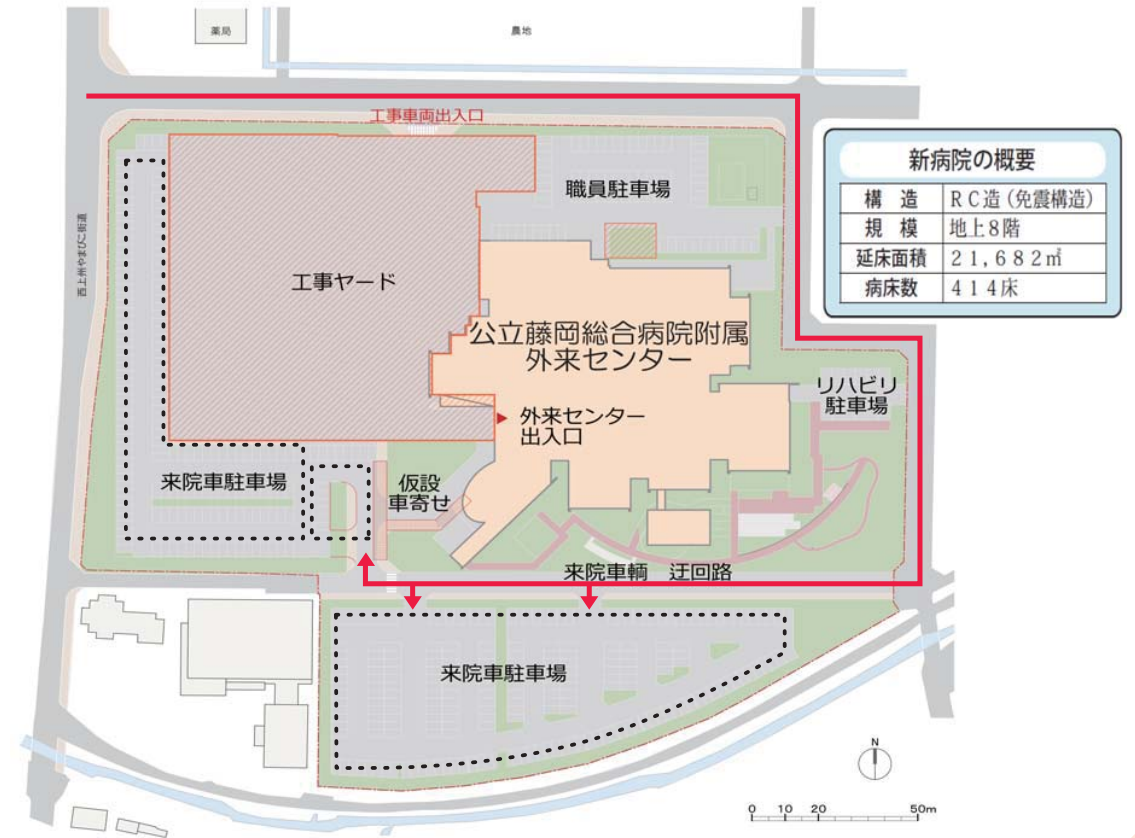
公立藤岡総合病院は昭和26年に病院開設後、病院機能の向上を図るため増改築を繰り返してきました。その結果「慢性的な駐車場不足」や「建物の老朽化・狭量化」が進み、診療環境の劣悪化を招きました。そこで平成14年、附属外来センターを開院し、入院と外来を分離し、診療環境を改善しました。しかし、人やモノの非効率な配置に起因する経営状況の悪化、状況により移動を余儀なくされる患者様の不利益、勤務負担の増大に伴う医師の減少など、新たな問題が発生してきました。このため、これらの諸問題の解消を図るため、入院棟と外来棟を一体的な病院として再整備することになりました。

工事期間中の来院はご注意ください。

現在文化財調査中で西側駐車場の一部が使用できませんので、来院する人は下図のとおり、外来センターを大きく迂回し、東側入口から進入してください。

長期間にわたりご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

工事期間中の規制および利用者進行図



オカリ・サークル リーラの音 によるオカリ演奏会を開催しました

患者様・ご家族様、多数の方が来場され、聞き入っていました。

平成26年9月30日

